ドラフト

2009年3月24日

ジョブ処理を使った同時エクスポート

TNTmipsのエクスポート処理および TNTmipsのジョブ処理システムでは、コ ンピュータのマルチコアを利用して高速 同時処理を行うことで、何百個もの空間 オブジェクトの大量バッチ処理によるエ クスポートを効率的に管理できます。TNT プロジェクトファイルの空間オブジェ クトを、サポートされている100種以 上の外部ファイルフォーマットヘエクス ポートすることが可能です。また、どの ような TNT 処理においても、多くの種類 の空間ファイル (TIFF/GeoTIFF, MrSID, JPEG, JP2/GeoJP2, Arc Shapefile, DWG 等)を直接選択し利用できるため、エク スポート処理を使って何百個もの MrSID ファイルを GeoJP2 ファイルに直接変換す るような、ある種類の外部ファイルを他 の種類のファイルに直接的にバッチ変換 することができます。

ジョブ処理を使ってエクスポートのバッチ処理を行う には、〈エクスポートパラメタ (Export Parameters)〉ウィ ンドウで[ジョブの実行 (Run Job)]または[ジョブの保 存 (Save Job)]ボタンを使います。エクスポート処理は、 エクスポートするファイルやオブジェクトごとに別々の ジョブファイルを生成します。各ジョブファイルでは個 別の入力ファイルやオブジェクトおよび指示された出力 ファイルの名前と場所を定義します。

エクスポート処理は多数のファイルやオブジェクトを 用いて効率的に作業することができるような多くの機能



<オブジェクト選択>ウィンドウの[全て追加 (Add AII)]アイコンボタン(上図黒枠)を使うと、カレント ディレクトリ内の全ての選択可能なオブジェクトやファ イル(ウィンドウ左側パネル)を、右側パネルの選択後 のリストに追加することができます。[ファイル(Files)] トグルボタン(上図赤枠)を使うと、選択を特定のファ イルタイプに自動で制限できます。例えば RVC とか最近 使用したフォーマットの1つをトグルボタンで設定した り、またはメニューから希望するフォーマットを選択し たりできます。この例では、ディレクトリ中の各 TNT プ ロジェクトファイルにエクスポートするためのラスタが 1個づつ含まれています。[全て追加 (Add AII)]アイコ ンボタンを1回押すと、これらの各ラスタオブジェクト

が右の選択後のリストへ追加されるので、各ファイルの中で操作して ラスタオブジェクトを手動で選択後のリストに加える必要がありませ ん。

			X Export (370)						
– Export Format –									
Filter 🕌 🛃 💽	🛃 🔛 🖬 🗗 Б	tension							
Name	Extension	Description							
DB-TEXT	txt	Text formats		6					
DBASE	dbf	dBASE III/IV and Fox	Pro						
DEM	dem	USGS Digital Elevation	ion Model 🧧						
DGN	dgn	MicroStation/Intergra	aph .DGN format 🧖						
DLG-OPT	dlg	USGS Digital Line Gr	raph OPTIONAL 😽						
DOQ	doq	USGS Digital Ortho (Quad 🧧						
DTED	dt0, dt1, dt2	Digital Terrain Elevat	tion Data						
DWG	dwg	AutoCAD Drawing (D	IWG) format 🛛 🖉 🗭 🔓						
DXF	dxf	AutoCAD Drawing eX	ichange Format 🛛 🖉 🏟 🔓						
ER-MAPPER	ers	Earth Resource Mapp	per format						
ERDAS-GIS/LAN	lan, gis	ERDAS GIS/LAN form	nat 🦉						
ERDAS-IMG	img	ERDAS format							
GeoJP2	jp2	JPEG-2000 JP2 form	at i						
GeoTIFF	tif. tiff	Tag Image File Forma							
Objects to Expo	rt		😝 🖯 💫 🕅 Export Parameters (370)						
Select Objects	Remove Re	move All	Additional Georeference All						
addison se NAIP	cir USDA 2003	7 utm83.sid	Export Objects to: Severate Files						
adolph_ne_NAIPci	r_USDA_2007	utm83.sid	Export objects to: acpaiate riles						
adolph_nw_NAIPcir_USDA_2007_utm83.sid			Null Value From Source 💌						
adolph_se_NAIPcir_USDA_2007_utm83.sid			Compression Lossy (targeted ratio) 💌 Ratio 20.0						
			Export as separate tile files of 8192 cells (square)						
			Use color palette if available						
			Use contrast tables if available						
			Advanced						
			Export Run Job Save Job Cancel						

を提供します。特定のタイプのファイルやオブジェクト が多くのサブディレクトリに分かれて存在しているとき でも、〈オブジェクト選択〉ウィンドウ上のコントロー ルを使えば、それらのファイルやオブジェクトを自動的 に選択することができます(下図)。名前の自動割り振 り機能もあって、出力ファイル全てに簡単に名前を付け ることもできます(次ページの図)。



<オブジェクト選択>ウィンドウの[全て追加(サブフォルダを含む) (Add all(including subfolders))]アイコンボタンを使うと(上図黒 枠)、カレントディレクトリ内(またはそのサブディレクトリ内)の 全ての選択可能なオブジェクトやファイルが選択後のリストに追加さ れます。この例では、MrSIDファイルを JP2ファイルにエクスポート するので、"sid"のトグルボタン(上図赤枠)がオンになっています。 "sid"のトグルボタンが存在

sld のトクルホタシか存在 しているのは、最近 MrSID ファ イルを使ったためです。選択 後のリストの各サブディレ

sid 🔻

pgm

pix

png

ppm

rik

rsw

shp

sid

tab

tif

tiff

xpm 😽

addison_se_NAIPcir_USDA_2007_utm83.aux
addison_se_NAIPcir_USDA_2007_utm83.sid
addison_se_NAIPcir_...7_utm83.sid.aux.xml

クトリにはいくつかの補助ファイルと、エクスポートされる1個の MrSID ファイルが含まれています。[全て追加(サブフォルダを含む)] アイコンボタンを1回押すと、これら全てのMrSID ファイル(この例 では897個)が自動的に右の選択後のリストに追加され、各サブディ レクトリに対して必要な操作をしなくてもかまいません。



<エクスポートパラメタ (Export Parameters)> ウィンドウで[ジョブの実行 (Run Job)]また は[ジョブの保存 (Save Job)]ボタンを押す と、エクスポートファイルの出力先フォルダを 指定し(右図の<フォルダ選択>ウィンドウ)、 出力ファイル名を指定する(その右の<ファイ ルセット選択>ウィンドウ)プロンプト画面が 表示されます。後者のウィンドウ上で[名前の 自動割り振り(Auto-Name)]ボタン(赤枠)を 押すと、各出力ファイルに入力オブジェクトや ファイルと同じファイル名を簡単に付けること ができます。

0 0	X Se	lect Folder (92	06)	
:	elect fo	lder for exporte	d files	
Path: /Volume	s/HD250	/Test/Arizona		
💱 런 Space	free: 9	6.5 GB		
E Priva	te			
sbin				
🛅 Sevi	er			
🗄 🛄 SRT	14			
🕀 🛄 Susq	uehanna	L		
⊞ <mark>⊡</mark> Syst	em			Π
E Test	7000			
	D 9371	8540		
	oJP2	0040		
			()	2



Pending	Done	Failed Setti	ngs										
Select All	Task	s not running	Queu	e Hold	Delete	Run Now	Task	s running	Pause	Resume	Cancel		
Status	Priority	ID		Name						Process ID	Run Time	Progress	
Running	3	20090220_13	30635_	Export bl	ackwater	falls_sw_	NAIPcir_U	SDA_2007	_utm83	748	00:01:48		
Running	3	20090220_13	30635_:	Export bl	uefield_ne	_NAIPcir_	USDA_200	17_utm83.:	sid To bl	749	00:01:46		
Running	3	20090220_13	30635_:	Export bl	uefield_m	NAIPcir_	USDA_20	07_utm83.	sid To b	750	00:01:23		
Running	3	20090220_13	30635_:	Export bl	uefield_se	_NAIPcir_	USDA_200	17_utm83.:	sid To bl	751	00:01:23		
Running	3	20090220_13	30635_:	Export bl	uefield_sv	v_NAIPcir_	USDA_20	07_utm83.	sid To b.	752	00:01:23		
Running	3	20090220_13	30635_:	Export bl	ue_creek	ne_NAIPci	r_USDA_	2007_utm8	3.sid To	753	00:01:22		
Running	3	20090220_13	30635_:	Export bl	ue_creek	nw_NAIPo	ir_USDA_	2007_utmi	83.sid Ti	754	00:01:22		
Running	3	20090220_13	30636_	Export bl	ue_creek	se_NAIPci	r_USDA_	2007_utm8	3.sid To	755	00:01:22		
Queue	3	20090220_13	30636_	Export bl	ue_creek	sw_NAIPo	ir_USDA_	2007_utm	83.sid Ti				
Queue	3	20090220_13	30636_	Export bo	owden_ne	_NAIPcir_U	JSDA_200	7_utm83.s	id To bo				
Queue	3	20090220_13	30636_	Export bo	owden_nv	/_NAIPcir_	USDA_20)7_utm83.:	sid To b				
Queue	3	20090220_13	30636_	Export bo	owden_se	_NAIPcir_U	JSDA_200	7_utm83.s	id To bo				
Queue	3	20090220_13	30636_	Export be	owden_sv	/_NAIPcir_	USDA_20)7_utm83.:	sid To b				
Queue	3	20090220_13	30636_	Export br	adshaw_	ne_NAIPcir	USDA_2	007_utm83	3.sid To				
Queue	3	20090220_13	30636_	Export br	adshaw_	nw_NAIPci	r_USDA_2	:007_utm8	3.sid To				
Queue	3	20090220 13	30636	Export br	adshaw :	se NAIPcir	USDA 2	007 utm83	3.sid To				
elected:	0												

< エクスポートパラメタ (Export Parameters)> ウィン ドウで [ジョブの実行 (Run Job)] または [ジョブの保 存 (Save Job)] ボタンを押し、出力ファイル名を指定 すると、エクスポート処理が各エクスポート用のジョ ブファイルを別々に作成します。[ジョブの実行] は、 全ジョブを実行用の待ち行列に送り、一方 [ジョブの 保存] は各ジョブに "停止 (Hold) "ステータスを設定 します。後でジョブマネージャを使って希望のジョブ を手動で開放して実行することができます。ジョブマ ネージャはジョブのスケジュール管理も行え、決まっ た時間や週の特定の曜日にジョブ処理を行うよう制限 できます。(テクニカルガイドの "システム:ジョブ 処理の管理 (System: Managing Job Processing) "を 参照)。

